

病院総合診療医における漢方診療・学習
の実態と日本東洋医学会への期待に関する
アンケート調査研究に関する
オプアウト文書

研究課題名：病院総合診療医における漢方診療・学習の実態と日本東洋医学会への期待に関するアンケート調査研究

1. 研究の目的および意義

近年、医学教育モデル・コア・カリキュラム等により大学での漢方教育が拡充された一方、卒後 10～20 年目の中堅病院総合診療医においては、学生時代に十分な漢方教育を受ける機会が得られず、臨床現場で漢方薬の必要性を感じながらも適切なフィードバックや指導体制が得られにくい(教育から「取り残された世代」となっている)可能性が示唆されています。

本研究は、病院総合診療医を対象に漢方薬の処方・学習の実態、学習上の障壁、および日本東洋医学会に対するニーズ・期待を調査・明確化することで、今後の遠隔学習システムの拡充や専門医連携・指導体制の構築に向けた基礎資料とすることを目的としています。

2. 対象となる方(研究対象者)

2026 年 8 月 9 日に開催された「第 33 回日本病院総合診療医学会 学術集会」(仙台)における東洋医学会若手部会コラボセッションに参加され、本アンケート調査にご回答いただいた方(約 16 名)。

3. 研究の方法および期間

- **研究期間：**倫理委員会承認後 ～ 2026 年 12 月 31 日(予定)
- **研究方法：**コラボセッション会場内でスクリーン投影された QR コードより、Google フォームを用いた無記名自記式 WEB アンケート調査を実施しました。ご回答いただいたデータを集計・解析し、学術集会での発表および学術雑誌等にて論文として公表いたします。

4. 使用する情報・項目

- **基本属性：**性別、年代、職種
- **診療・学習実態：**日常診療での漢方処方頻度、四診(脈診・舌診・腹診等)の実施状況、学習へのモチベーション、学習における障壁・お悩み、身近なコンサルテーション相手の有無
- **学会への期待：**日本東洋医学会に期待する教育・支援プログラム(遠隔学習、教育回診、オンライン相談、研修プログラム等)、自由記載意見

5. 個人情報の保護および匿名化について

本調査は**完全無記名**で実施されており、氏名、勤務先施設名、連絡先、IP アドレス等の個人を特定できる情報は一切収集・保持しておりません。データはすべて統計的に処理され、特定の個人が識別されることは一切ありません。

6. 研究成果の公表

本研究で得られた成果は、日本病院総合診療医学会、日本東洋医学会等の学術集会および学術専門誌（論文）において発表・公表されます。

7. 研究参加の拒否（オプトアウト）について

本アンケート調査は無記名で実施しているため、アンケート提出後に個人の回答データを特定して削除することは技術的に困難です。ただし、本研究に関するお問い合わせやご意見・ご質問がある場合は、下記のお問い合わせ窓口までご連絡ください。なお、本研究への不参加・お問合せ等によって不利益を被ることは一切ございません。

お問い合わせ窓口

社会福祉法人 三井記念病院

〒101-8643 東京都千代田区神田和泉町1番地

研究責任者 総合内科 増田 卓也

連絡先 03-3862-9111